

発行日 2007/11/1

発行 まつだこどもクリニック

まつだこどもクリニックニュース

<http://www.matsuda-kodomo.com>

診療のご案内

診療時間

【午前】 9:00～12:00

【午後】 16:00～19:00

14:00～16:00は専門外来（予約制）、各種予防接種、乳幼児検診、ペリネイタルビジット

土曜午後 専門外来（予約制）

休診日 木曜日午後、日祝日

11月のクリニック休診日

専門外来の休診

11月 7日（水）八千代町4ヶ月健、BCG予防接種

11月13日（火）下妻市3歳児健診

11月14日（水）下妻市5ヶ月児健診

11月20日（火）下妻市BCG予防接種

一般外来の休診

今のところ、休診の予定はありません。

心臓外来のお知らせ

実施場所

茨城西南医療センター病院内

（茨城県猿島郡境町2190）

診察日

11月 8日（木）

11月 22日（木）

いずれも午後1時30分から

予約

心臓外来は予約制です。予め茨城西南医療センター病院まで予約をお願いします。TEL0280-87-8111

夜間診療のお知らせ

実施場所

筑波メディカルセンター病院内

（つくば市天久保1-3-1）

診察日

11月15日（木）

午後6時から午後10時まで

休日診療（輪番制）のお知らせ

実施場所

茨城西南医療センター病院

診察日

11月18日（日）

午前8時から午後2時まで

まつだこどもクリニックからの最新のニュースです。
携帯からどうぞ



特集 気管支喘息について～その3～

9月号で気管支喘息の大まかな事について、10月号で2歳以下のお子さんの事について書きました。今月は、2歳から5歳、6歳から15歳について書きます。現在は、長期管理に関する薬物療法のプランが2005年に出されています。ステップ1（間欠型）からステップ4（重症持続型）までに分かれていてそれぞれに基本治療、追加治療が示されています。2歳から5歳と6歳から15歳は、基本的には大差はありませんが年齢が大きくなるに従い吸入ステロイドの役割が重要になってきます。来年には、ガイドラインが見直される予定です。

長期管理に関する薬物療法プラン <2歳から5歳>

ステップ1（間欠型）

基本治療	発作に応じた薬物療法
追加治療	抗アレルギー剤の内服

ステップ2（軽症持続型）

基本治療	抗アレルギー剤の内服または吸入ステロイド薬
追加治療	テオフィリン徐放製剤

ステップ3（中等症持続型）

基本治療	吸入ステロイド薬
追加治療	以下の1つ又は複数の併用 ロイコトリン受容体拮抗薬内服 インタールの吸入 テオフィリン徐放製剤の内服 2刺激薬貼付 長時間作用性の吸入 2刺激薬

ステップ4（重症持続型）

基本治療	吸入ステロイドに以下の治療の併用 ロイコトリン受容体拮抗薬の内服 インタールの吸入 テオフィリン徐放製剤の内服 2刺激薬貼付 長時間作用性の吸入 2刺激薬
追加治療	なし

>>次ページへ続く

長期管理に関する薬物療法プラン < 6歳から15歳 >	
ステップ1 (間欠型)	
基本治療	発作に応じた薬物療法
追加治療	抗アレルギー剤の内服
ステップ2 (軽症持続型)	
基本治療	吸入ステロイド薬または抗アレルギー剤の内服
追加治療	テオフィリン徐放製剤
ステップ3 (中等症持続型)	
基本治療	吸入ステロイド薬
追加治療	以下の1つ又は複数の併用 ロイコトリン受容体拮抗薬内服 インタールの吸入 テオフィリン徐放製剤の内服 2刺激薬貼付 長時間作用性の吸入 2刺激薬
ステップ4 (重症持続型)	
基本治療	吸入ステロイドに以下の1つまたは複数の併用 ロイコトリン受容体拮抗薬の内服 インタールの吸入 テオフィリン徐放製剤の内服 2刺激薬貼付 長時間作用性の吸入 2刺激薬
追加治療	経口ステロイド薬



News

12月13日(木) 午前11時から下妻市保健センターで「子どもの救急ってどんなとき? ~子どもの健康管理と上手なお医者さんのかかり方~」というタイトルで講演を行います。ご希望の方は、参加してください。講演は、11時45分までで、その後12時までは、質疑応答になります。対象は子育て中の保護者です。参加費は無料ですが、事前申し込みが必要です。また、先着10名様までは、託児があります。お問い合わせ先
下妻市保健センター 0296(43)1990
なお、当日は、午前10時30分で診療受付は終わりとなります。

Pick up

(1) 医療の地域格差について

乳幼児健診は、今まで各市町村から乳児期前期(生後3ヶ月から6ヶ月)と後期(生後9ヶ月から11ヶ月)の2枚無料券が発行されていましたが、八千代町は一昨年からの無料券が無くなり、後期の1枚の発行になりました。これは、町の予算の関係のようです。注意してください。八千代町にお住まいの方は、出来るだけ町の集団健診を受けるようにして下さい。もし、何かの事情で受けられない時には、翌月の健診でも構いませんから受けるようにして下さい。八千代町の乳幼児健診は、ここ5年以上私が一人で担当していますので、特に支障はありませんので、安心して下さい。また、八千代町は、4ヶ月健診の際にBCGの予防接種も同時に行っていますので、必ず受診するようにして下さい。下妻市は、来年4月からBCGの予防接種は、どうやら個別接種が取り入れられそうです。今まで、6ヶ月以内であっても集団接種に漏れると個別に任意接種になっていたのが、これで救済されそうです。医療の世界でも徐々に地域格差が生まれ始めているのでしょうか?

(2) インフルエンザ(その3)

10月からインフルエンザワクチンの接種を始めました。インフルエンザワクチンは、卵アレルギーがあると、ワクチン接種が難しくなります。定期予防接種については、予防接種要注意者紹介制度がありますが、任意接種にはありません。予防接種の予約の際、注意してください。アレルギーのあるお子さんも出来るだけ、ワクチン接種をしたいと考えております。

こんにちは、神郡裕子(かngoori ゆうこ)です。下妻市在住、血液型B型、さそり座です。私自身、3人の子供を持つ親として小児科専門のまつだこどもクリニックが市内に開院されることを知った時大変うれしく思いました。子供をお持ちの多くの方が私と同じ気持ちになられたのではないのでしょうか。私は、9年ほど近隣の保健センターで、健診や予防接種などのお手伝いをさせていただきましたが、子ども達やそのご家族の笑顔が大好きでした。クリニックへは、主に病気になられた子ども達が来ますが、その子ども達が自ら『元気になるために病院へ行こう』と思ってもらえるように、そしてご家族の方も安心し、一緒に元気になってもらえるようにお手伝いさせていただきたいと思っております。宜しく願いいたします。



Staff's Voice

編集後記

今年もインフルエンザワクチンの予防接種の時期になりました。現在、接種中ですが、今年は、既にインフルエンザの発生があるようで、例年に比べて早い流行の兆しです。注意して下さい。単純ですが、手洗い、うがいが非常に有効です。生活の習慣になると良いですね。

(院長 松田恭寿)